

大分県立日田高等学校
創立 100 周年記念事業
卒業生里帰り講演会



人生は出会いのサイクル

～ 人と言葉との出会いが人生を形づくる ～

2021年6月19日(土) 於 金鳥館

日本文理大学 学長 橋本堅次郎

(日田高校22回生、昭和45年卒)

配布資料について

- 講演終了後に追加の資料を出口で受け取ってください。
- 「部下のやる気を引き出す名言」とありますが、若い人に伝えたい名言です。

今日の狙い

出会いは鉄道のポイントのようなもので、出会いによって
人生の方向がすっかり変わることも少なくない。

出会いとはいったい何であろうか。

(「出会いについて」 小林司著、3 P)



出会い

高校生の皆さんがこれからの長い人生を
“成長し続ける”ために“出会い”について
一緒に考えてみましょう。



出会い

年を取る（年齢を重ねる）

人生で与えられた一番公平な機会

これほど確実なことはない。

誰もが持っている公平な機会



人生は**出会いの連続**と言える。

〇〇に**出**会**う**

人、本、師、物、言葉、神仏、思想、文学、詩歌、

演劇、絵画、映画、音楽、自然、社会、病気、・・・

(「出会いについて」小林司著)



成長のための“出会い”のサイクル

「挑戦・創造」と出会う 知識×体験＝知恵、意欲×能力

意欲の芽生え

「気づき」と出会う

「困難」と出会う・実行する力の不足

情報との出会い
発見との出会い
発想との出会い
「考え抜く力」

「人」と出会う

共感する
驚き
感動
交流

新しい学びに出会う

「知識」と出会う
「技能」と出会う

人生は学びの連続

意欲の芽生え

■スタート

- ・アンテナを立てる
心の構え
(問題、課題・疑問)
刺激を得る
興味、関心を持つ
- ・偶然の出会い
(セレンディピティ)
(人、出来事、本)
- ・自覚・自発

メモ

過去・現在・未来



画像 : YUKIOHNO.COM

成長のために過去・現在・未来

未来にあるのは何か？
()

• どこが一番大切か？

未来

コツコツが成功のコツ

現在

成功の秘訣 「積小為大」

凡そ小人の常、大なる事を欲して、小なる事を怠り、出来難き事を憂ひて、出来易き事を勤めず。大は小の積んで大となる事を知らぬ故なり。

過去

「現在は過去の結果」

() と () は変えられないが、
() と () は変えられる。

(エリックバーン)

未来にあるのは

質問：未来にあるのは夢ですか？ビジョンですか？

・ダンさん：アメリカ人のコンサルタント（42歳ころ）

未来にあるのは”可能性”

エリック・バーンの言葉

他人と過去は変えられないが、

(非難) (後悔)

未来と自分は変えられる

(可能性) (今)

カナダの精神科医 エリック・バーン博士

カナダ出身の精神科医であり、1957年に**交流分析**を提唱した。

1910年：カナダのケベック州モントリオールで開業医の子として生まれる。 1935年：
マギル大学より医学博士の学位を取得した（ウィキペディアより）

コツコツが成功のコツ

A君(1年生)

“私は大きなことをやりたいのです”

(知識×体験=知恵、意欲×能力)

小さなことからコツコツと
(鍵山秀三郎「人生問答」)

現在(今)の積み重ねの先に

”未来“(可能性)はある。

コツコツが成功のコツ

鈴木大拙

- ・世界的・仏教哲学者、
- ・日本の禅文化を海外に広く知らしめた。

コツコツとやっていく。そうすると
自分とやることが一つになる。(中略)
わしはそれが一番大事で、
一番きれいなものだと思う。

(鈴木大拙座談集、第5巻、読売新聞社)

イチローの言葉

小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行く、ただひとつの道だと思っています。

積小為大

積小成多 (中国)

学生・・・未来にあるのは「死」です。

- ・ 6代目 尾上菊五郎 (1985-1949)
- ・ 大正・昭和時代に活躍した歌舞伎役者

辞世の句

まだ足りぬ踊り踊りてあの世まで

センター試験を受ける８８歳の受験生

「なぜセンター試験を受けるのですか？」

死ぬまで一歩でも二歩でも前進して生きて
行きたい。まだ限界は感じませんな

(呵々大笑)

蓋棺事定（がいがんじてい）

（65歳）

人は死んではじめて、その評価が定まる。

どのような弔辞を読んで欲しいですか？

（友人、家族、同僚、後輩、…）

メモ

人との出会い

人との出会い

運は神頼みではない

運は人が持ってくるものである

リチャード・ワイズマン、

イギリスの心理学者「運の良い人の法則」

しかし、人との出会いは計画されていない

(偶然の出会い)

良き人との偶然の出会い

初対面の場面を覚えている人とは 一生の付き合い

武内真司君（東部中学）、武川隆彦君（浪人下宿、松本深志高校）、
古賀伸子さん（能古島）、和田允夫先生（KBS）、・・・

武内真司君

(東中、日田高、受験、慶応、アパート、・・・)

武川隆彦君

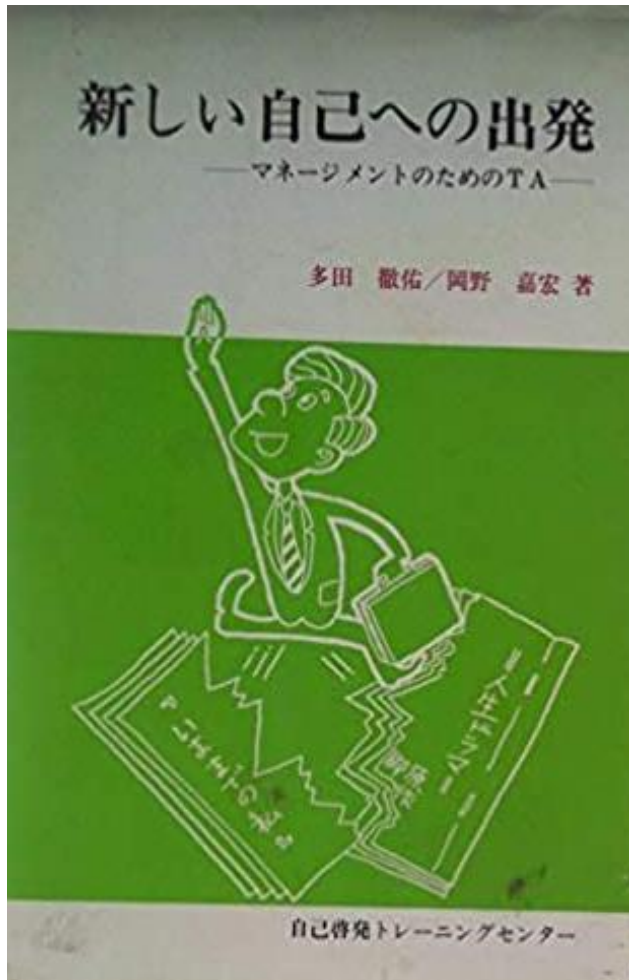
(長野県松本深志高校出身)

浪人下宿(練馬区)、受験、慶応、・・・

閑話休題 「受験」(武内君、武川君、池田君)

- **なぜ勉強するのか？(受験?、……)**
- 考え抜く頭の構造をつくる。学ぶ習慣をつくる、そのために
- 選択と集中・・・目標を決めたら諦めずに継続して集中する
- コツコツと寸暇を惜しむ(5分×10回=50分)
- 勉強→学習→学問(学んで問いを生み出す、問いから学ぶ)
- 人生は学びの連続
- 人生を通してこの学ぶ習慣は**一生の財産**となる
(勉強もスポーツも文芸も”人生”も)

25歳：本との出会い「交流分析との出会い」



岩田屋人事部教育課の

加島課長から紹介されました。

「新しい自己への出発」

ーマネジメントのためのTAー

「交流分析」から私は現在までさまざまな影響を受けている。人生の節目で人や理論が現れる

「交流分析 (TA)との出会い」

交流分析 (TA:Transactional Analysis)

エリックバーンによって提唱された心理学パーソナリティ理論。

POPな心理学と言われ、心理療法だけでなく広く教育、マネジメント、コミュニケーションのトレーニングで使われる。

構造分析





若いグローバルリーダー のネットワーク



ローターアクトクラブ との出会い(25歳)

29

- ロータリークラブの提唱のもと、18歳から30歳で構成される。奉仕活動や親睦活動を通してリーダーシップや企画力など専門的なスキルを育みながら人として成長を目指します。
- ロータリーとローターアクトの会員は、世界各地で奉仕を通じて共に行動しています。大都市から地方まで、ローターアクトはさまざまな地域社会で変化をもたらしています。
- 全世界に10,698クラブ
- 会員数 203,298人
- 世界 180の国

影響を受けたロータリーの先生

出会いと言葉

(一生のお付き合い)

福岡西ロータリークラブ 池田泰三先生の言葉

・橋本君、人間の成長というのは

「芋の皮むきと一緒にだよ」

人と人が擦れ合うことで皮がむけていく。良いことばかりではない。葛藤もあるし争いもあるがそれを経験して人は成長する。

人と触れ合い、関わり合い、こすれ合う

私の人生の指針となりました。(26歳)

困難な状況の時に

高い目標を掲げる

クラブが困難な時、高い目標を掲げて

皆で実現をめざすのです

福岡南ロータリークラブ 田中子玉先生の言葉

質問：法人会員としてRAC活動を行っているが会社は活動への配慮をすべきではありませんか？（25歳）

君がまず仕事で

信頼を得ることです

福岡西ロータリークラブ 増岡健一先生の言葉

人間関係の良さがものをいう。

要するに普段の心掛けが大事なのである。

そのためには仕事から追われるのではなく、仕事を追いかけるように心がける。

忙しい時には人の仕事の加勢をしてやるという

人間関係の良さがものをいう。

単に職場だけではなく人生のあらゆることへの
共通項と言えよう。

高校三年、担任の平井先生との出会い（18歳）

- ・担任の平井先生のご自宅に友人と遊びに行きました。
- ・平井先生「将来、君たちは何になるのか？」
- ・友人たち「〇〇になる」「△△になる」
- ・私…何も考えていなかった。思わず

「何かになる！」

今でも私の心の中では「自分は何かになれたのだろうか？」という問いがあるのです。

未来でのもうひとつ出会い

出会いがもし私たちに何かをもたらしてくれるとするならば(中略)

「自分との出会い」

が実現されることであろう。

「出会いについて」、精神科医小林司著、P234

(自分への気づき)

何かを実現した自分との出会い

質問「魔法の言葉」をもっていますか？

「魔法の言葉」

落ち込んだ時、失敗した時、挫折した時、自分の気持ちを奮い立たせる言葉です。

どのような言葉を持っていますか？

私の魔法の言葉

「どうせと思うな、せっかくと思え!」

ローターアクトクラブの研修講演で(27歳)

(リーダーシップフォーラム、次期指導者養成講習会)

どうせと思うか、せっかくと思うか。

それが人生の分かれ目になる。

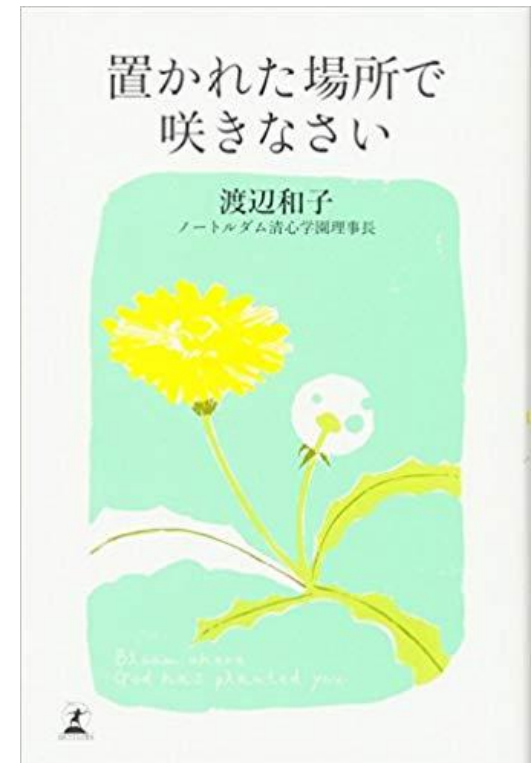
※本当につらい時に「せっかく」と思うのは苦しい

学生から教えてもらった魔法の言葉

置かれた場所で咲きなさい。

咲けないときは根を下に張りなさい。

渡辺 和子（わたなべ かずこ、1927年2月11日 - 2016年12月30日）。キリスト教カトリック修道女（修道女名：シスター・セント・ジョン）。学校法人ノートルダム清心学園理事長。北海道旭川市生まれ。



良い出会いをするには

自分が“良き者”であること

では“良き者”とは？→悪しき者を考える。



出会いについての言葉

縁尋機妙（えんじんきみょう）

多逢聖因（たほうしょういん）

（安岡正篤先生）

縁が縁を尋ねるようにつながるのは本当に不思議だ

多くの出逢いが良い結果を生み出す

（良い原因となる）

不本意な時、最悪の時、悪い出会い

不本意、最悪の時、悪い出会いは必ずある

不本意：本当の望みとは違う。

不本意な時、最悪の時、悪い出会い

後から思えば、不本意も最悪も

悪い出会いも悪くない

学び、出会い、きっかけ、チャンスがあった。

(乗り越えて見ればの話し)

40代から50代の縁尋奇妙・多逢聖因

成長のための“出会い”のサイクル

「挑戦・創造」と出会う 知識×体験＝知恵、意欲×能力

意欲の芽生え

「気づき」と出会う

「困難」と出会う・実行する力の不足

情報との出会い
発見との出会い
発想との出会い
「考え抜く力」

「人」と出会う

共感する
驚き
感動
交流

新しい学びに出会う

「知識」と出会う
「技能」と出会う

人生は学びの連続

意欲の芽生え

■スタート

- ・アンテナを立てる
心の構え
(問題、課題・疑問)
刺激を得る
興味、関心を持つ
- ・偶然の出会い
(セレンディピティ)
(人、出来事、本)
- ・自覚・自発

不本意な時、最悪の時、悪い出会い

我慢をすることではない。

自分で道を切り開き乗り越える！

・どのように過ごすか。乗り越えるヒント

どうせと思うか、**せっかく**と思うか

「どこにいるかではない。そこで何をするかだ」

※不本意、最悪な時、悪い出会いに

”人と言葉”は生きる

Nさんの事例「どこにいるかではない。そこで何をするかだ」

- Nさんは現在、Webアプリの作成会社でプログラミングを教えている20代後半の女性です。
- 彼女は経営経済学部卒業でプログラミングの知識もスキルもありませんでした。
- Nさんは日本文理大学へは国立受験に失敗し入学しました。**(不本意入学)**
- 大分県 韓国語弁論大会優秀賞(3年)、最優秀賞(4年)

- 最初の就職はホテルでした。

- そこで学んだ事は、

分からない人（外国人）へ**分かりやすく伝えること**を学んだ。説明の仕方の工夫やジェスチャーなど必死だった。

- ホテルを辞め、お肉の計り売りの会社でアルバイトをしました。

- そこで学んだのは、事務・経理・チラシやPOPの制作。今のWebの仕事に活かしている。

- **失業して（ ）暇だから（ ）した。**

- Webデザインを学んだ。

- やってきたことが無駄になっていないと思う。

心がけているのは

- 「どこにいるかではなくて、そこで何をするか」。
- この言葉を心がけることでやったことを確実に身に付ける方法を覚えた。好きなことを見つけるのは大変だが、コツコツやるのは得意。後ろからコツコツ追いかける。

- 勢いで先に行きすっ飛ばす人は**大事な隙間の部分**を身に付けていない。
- 新しい仕事など**モノにする方法が分かった**。やるだけやって成果につながることを学んだ。
- 今は人によって成長しているのが楽しい。
- **いろいろあったがなるようになっていく。**

成長のための
出会いのサイクル

成長のための“出会い”のサイクル

「挑戦・創造」と出会う 知識×体験＝知恵、意欲×能力

意欲の芽生え

「気づき」と出会う

「困難」と出会う・実行する力の不足

情報との出会い
発見との出会い
発想との出会い
「考え抜く力」

「人」と出会う

共感する
驚き
感動
交流

新しい学びに出会う

「知識」と出会う
「技能」と出会う

人生は学びの連続

意欲の芽生え

■スタート

- ・アンテナを立てる
心の構え
(問題、課題・疑問)
刺激を得る
興味、関心を持つ
- ・偶然の出会い
(セレンディピティ)
(人、出来事、本)
- ・自覚・自発

未来でのもう一つの出会い

(可能性との出会い 死との出会い 自分との出会い)

過ぎ去った過去との出会い

(ある看護師さんの言葉)

人生は一冊の本 (ジャン・パウル、ドイツの小説家)

(27歳の時、先輩の披露宴での仲人さんの言葉)

人生は一冊の本によく似ている。

愚かな者はそれをパラパラと

めくっているが、賢い者はそれを念入りに読む。

なぜなら彼は、ただ一度しかそれを読めないこと

を、知っているからだ。

学生の感想

・人生は一冊の本である。

一冊の本の主人公は私で、

その本を厚くするのも薄くするのも

私次第ですね。

メッセージ

- ・現在を生きるとは、主役である自分の人生の一頁を丹念に読むことに他ならないのです。
- ・皆さんには未来へむけて無限の可能性を探求し、可能性との「出会い」を果たして欲しいと願います。
- ・そして未来にある出会い。
- ・「過ぎ去った過去」と出会った時、ふと振り返った後ろにはどのような道が残っているのでしょうか？

- ・過ぎ去った過去を振り返った時、楽しいこともうれしいことも挫折も失敗もあった道だけれども、自分は良くこの道を歩んできたなあと思えるかどうか。
- ・何かを成し遂げた自分との出会いを果たして欲しいのです。
- ・今日から、一日一日を大切に、せっかくという気持ちで高校卒業の時には、自分の可能性を大きく切り開き、さらに分厚い本、青春という分厚い本を読み切り、さらに豊かな人生を切り開いた君たちとの未来での出会いを楽しみにしています。

謝辞

本日はこのような機会を設けて頂いた

陽柳会、日田高校の皆様に厚くお礼申し上げます。

またここに至るまでの様々な出会いに感謝いたします。

日田高校の生徒の皆さん、ご参加いただいた皆様

ご清聴頂き有難うございました。